

冬至は、1年のうちで最も太陽が低い位置に来るため、昼が短く、夜が長 くなります。

昔は、太陽の力が最も弱くなる日とされ、この日を境に太陽が生まれ変わり、 運が向いてくると考えられていたことから、ゆず湯で身を清め、邪気を払う 小豆や、「ん」のつく食べ物を食べて「運」を呼び込む風習があります。

(【人)のつく食べ物で「運」を呼び込もう!

なんきん (かぼちゃ) にんじん れんこん



きんかん ぎんなん

















お正月の行事

新しい1年の始まりであるお正月は、その年の幸福や豊作をも たらす「歳神様」(年神様・歳徳神)を各家庭にお迎えする日本の 伝統行事です。家族そろって、おせち料理やお雑煮といった正月 料理を食べて、新年の無事を祈ります。現在では、おせち料理を 手作りする家庭が減っており、洋風や中華風などバラエティー豊 かなおせち料理が販売されていますが、伝統的なおせち料理には、 新年への願いを込めた縁起の良い食べ物が使われています。



伝統的なおせち料理の意味や込められた願い

※地域や家庭によって違いがあります。



の重

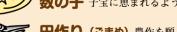
重(祝い肴・口取りなど)



黒豆 まめ(まじめ・健康)に暮らせるよう



数の子 子宝に恵まれるように。



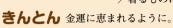


田作り(ごまめ)豊作を願って。

たたきごぼう家族や家業が土地に根を張るように。



伊達巻き 知識や教養が身につくように。 /着るものに困らないように。



紅白かまぼこ 赤は魔除け、白は清浄を表す。

重(酢の物・焼き物など)





里いも 子宝に恵まれるように

この重(煮物など)



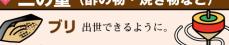
れんこん 将来を見通せるように。

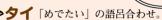


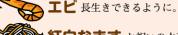
くわい 出世できるように。



昆布巻き「よろこぶ」の語呂合わせ。







▶ 紅白なます お祝いの水引を表す。